

「地球環境行動会議(GEA)国際会議2022」歓迎レセプション

政務官の挨拶

ご列席の皆様、

- 「GEA（ギア）国際会議2022」の開催に際しまして、皆様を本レセプションにお迎えできましたことを、大変嬉しく存じます。
- GEAが発足した1991年当時、国連気候変動枠組条約、生物多様性条約は採択されておらず、地球環境課題を身近に感じる人が少ない中、GEAは本当に先進的な取り組みでした。それから30年以上がたち、動植物の保護、大気と海洋環境の保全、またその持続可能な利用といった地球環境の課題への関心が国際的に大きく高まり、その解決に向けて国際社会全体で実効的な行動を起こすことが重要となっています。
- 2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」達成を掲げるわが国が、世界の脱炭素化へ向けてリーダーシップを発揮し、経済と環境の好循環に取り組むことは、自然と共生する世界の実現に向けた重要な道筋をつけることとなります。本日御出席いただいた皆様とも連携し、持続可能な社会の達成に向け、日本の技術を活かしつつ、力強く貢献していく考えです。
- 今回の会議のテーマは、現下の国際情勢を踏まえた時宜にかなったテーマであります。ロシアによるウクライナ侵攻が世界のエネルギー・食料安全保障に大きな影響を及ぼす中、気候変動、エネルギー、食料などの問題が相互に結びつき、これまでになく多くの人々の安全が脅かされています。誰一人として取り残さない社会を目指すべく、国際的な連携を一層強化していかねばなりません。

●地球環境課題の解決に向け、日本は国際的な議論を牽引していく決意です。
すでに本日も充実した議論が行われたところではありますが、この2日間の会
議を通じた議論、そしてG E Aの活動が将来の世代に豊かな地球環境を引き
継ぐ原動力となることを希望しまして、ご挨拶とさせていただきます。

ご清聴、ありがとうございました。

【日本語で約 773 字(日本語で約3分)。逐次通訳で約6分】